

# ランドレース種系統豚「アイリスL<sup>エルスリー</sup>3」を開発しました

～産子数が多く、発育が良い新しい系統豚の誕生です～

長瀨政広（農業総合試験場畜産研究部）

【平成23年6月20日掲載】

## 【要約】

県農業総合試験場が平成8年に開発したランドレース種系統豚「アイリスL2」の後継として「アイリスL3」を開発した。ランドレース種としては本県では三代目となる。

繁殖能力の改良を目標にして系統造成を行った結果、アイリスL2に比べ、産子数が多く（10.8から11.5頭に増加）、子育て能力（泌乳能力）及び子豚の発育も向上した。また、足が太くて丈夫な豚が完成した。

※系統豚：遺伝的に似通った斉一性の高い、相互に一定以上の血縁関係を持った集団（血縁的には「いとこ」ぐらいのつながり）。このため、系統豚を親として生産される肉豚や豚肉は均一的なものができる。

## 1 はじめに

一般的に系統豚は、斉一性を維持するために長年（約15年）近親交配を続けることから、繁殖能力が次第に低下する。これにより平成8年に維持が始まったアイリスL2は血縁が濃くなり繁殖能力などの低下が生じてきた。このため平成15年からアイリスL2の良さを生かしながら、新しい系統豚の造成に着手し、三代目となるランドレース種系統豚アイリスL3が完成したので紹介する。

## 2 系統造成の目標及び方法

### （1）目標

アイリスL3は、アイリスL2の改良版と位置づけた。そのため、アイリスL2の産肉性を維持し、繁殖性を向上させることを目標とした。

### （2）方法

アイリスL3の造成系統には他道県の系統豚、県内の育種農家及び畜産総合センターで飼養されたアイリスL2の雄11頭、雌50頭、さらに、国内外の系統造成で供する購入精液を交配して生まれた豚を基礎豚とした。これらの基礎豚を1年1世代で選抜を繰り返し、6世代で完成した。

各世代ごとで乳頭数及び乳器、陰部、肢蹄の形状等の不良形質について独立淘汰した。総産子数、離乳時総体重、一日平均増体重及び背脂肪の厚さについては、BLUP法を用いての育種価（その形質の遺伝的な能力を評価する価）を基に選抜を行った。

## 3 結果

繁殖能力の指標となる初産の一腹あたりの産子数は、目標としていた11.5頭に達した（図1）。また、子育て能力及び子豚の発育状況を示す離乳時総体重（20日齢時離乳）は、58.2kg/腹（目標58kg）となった（図2）。

産肉能力を示す一日平均増体重（生時から90kg時まで）については、653gとなり、アイリス及びアイリスL2と比べ、大幅に改良された（表）。その結果、90kgに到達する日数も、アイリスより32日、アイリスL2より26日、それぞれ短縮された。

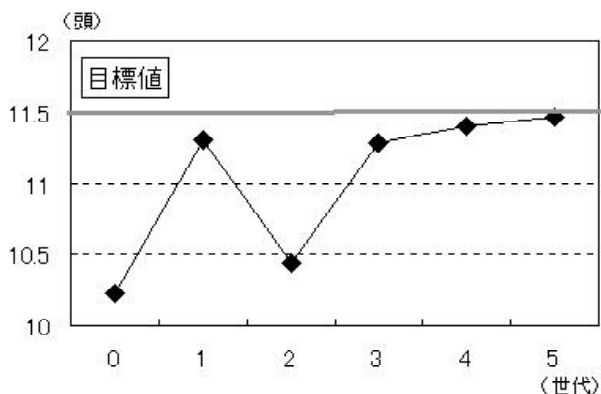


図1 総産子数の推移

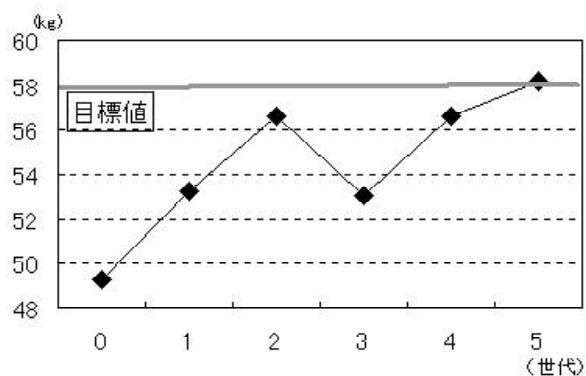


図2 離乳時総体重の推移

表 繁殖成績及び産肉成績の系統間の比較

系統名	産子数 (頭)	離乳頭数 (頭)	1日平均 増体重(g)	90kg到達 日数(日)
アイリス	9.6	7.5	528	168
アイリスL2	10.8	9.3	546	162
アイリスL3	11.5	9.9	653	136

※アイリス、L2は、30日齢で離乳、L3は、20日齢で離乳

1日平均増体重は、生時から90kgまで

#### 4 まとめ

今回完成したアイリスL3は、歴代のアイリス、アイリスL2に比べて、体型は幅や深みが増し、がっちりとした形になった。肢蹄についても、太く丈夫になった（写真）。

産子数や増体についても大幅な改良となった。

平成23年8月頃に、アイリスL3の農家等への譲渡が、畜産総合センターから行われる予定である。

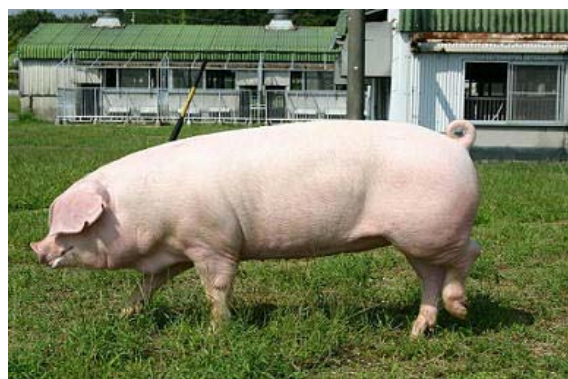


写真 完成したアイリスL3